

筑前町

ボランティアセンターだより

ステキな作品に仕上がりました。

笑顔deつなぐ♪小物づくり講座



「楽しい」や「ワクワクする」を経験できながら
ボランティア活動は、学びながら

合同研修のガイドボランティア活動



ストレスチェックをしていますよ。



ど〜んとかがし祭ボランティア活動

今年は「ティラノサウルス」



祭の運営手伝いは、とても楽しかったです〜。



わらを揃えています！

昨年度からセンターは、社会福祉協議会（以下「社協」）が推進している小・中学生向け福祉教育の取り組みに、地域のみなさんと一緒に、より効果的な教育が実現できるよう「福祉教育サポーター養成講座」（p4掲載）を実施しました。受講後は、福祉教育サポーターとしての活動が始まりました。

今回の特集は、9月から活動をしているサポーター、学校、社協が福祉教育を通して感じたことや思いを紹介いたします。

今後も、地域のみなさんと子どもたちが、福祉教育を通してお互いに「地域を知る・学ぶ」きっかけとしてセンターは応援していきます。



【福祉教育サポーターとは】

小・中学校等で福祉に関する学習を行う際、体験をサポートするボランティアです。

- ★車いす、視覚障がい、高齢者体験での使い方サポートや体験中の声掛けや見守り
- ★振り返りの時間でのサポート
- ★生活や外出の様子、車いすや白杖などのアドバイス

【福祉教育の目的とは】

全ての人が

「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせ」

を実現するため、それぞれの多様性を認め合い、「ともに生きる力」を育むための学びです。また、自己肯定感、自己有用観を育み、豊かな福祉観を持つことを目指します。



夜須中学校での視覚障がい体験

初めての白杖や誘導（ガイド）体験に少し戸惑っている姿もありましたが、体験を通して、気づきや相手のことを思いながら取り組む姿が良かったです。



三輪中学校での高齢者体験

福祉教育サポーター 安藤さん

頭では理解していても実際に体験することで、自分が考えていたこととは違う不自由さを感じたと思います。

少しの体験かもしれませんが、自分の中に何かしら変化があったのではないのでしょうか。「体験できてよかった!」「大変だった」、「おもしろかった」等の声を聞きました。

中学生にとってこの体験が、将来活かされると思います。



福祉教育サポーター 勝山さん

三輪小学校での車いす体験

介護職に従事する者として、子どもたちが丁寧に車いすを操作する姿を見られて、とても頼もしいと感じました。



福祉教育サポーター 用水さん

子どもに関わる活動に関心があり、初めて福祉教育サポーターとして参加しました。最初は、緊張しましたが楽しかったです。地域みなさんもぜひ一緒に活動してみませんか。

子どもたちの、学ぶ姿勢がたくさんみられ、車いすについてもたくさん質問があり、これから先一人一人地域の人を助けられると思いました。



福祉教育サポーター
Y・Tさん、S・Fさん



夜須中学校の生徒は、地域の方々に支えられながら成長していると改めて感じました。

夜須中学校 二宮先生



福祉教育サポーターさんがいらっしやったことで、子どもたちが安全に車いす体験をすることができました。

きめ細やかな声かけをいただき、ありがとうございました。



福祉教育サポーターのみなさんは、子どもたちに寄り添い、優しく声をかけたり、安全に体験ができるよう熱心に取り組んでいただきました。私たちが、今までできなかった細やかなサポートが加わり、より充実した福祉教育になりました。

社協)福祉教育担当者 安藤さん

三輪小学校 高良先生

個人ボランティア登録 森 貴子さん

特技のハーモニカ演奏で
みんなを笑顔に♪

以前は、団体の一員として福祉施設に訪問をし、ハーモニカの演奏をしていましたが、コロナ禍で活動が休止になりました。少しコロナ感染症が落ち着いてきた頃に、「活動を再開したい」と考え、思いついてセンターに登録をしました。

現在は、各地域のいきいきサロンを中心にハーモニカ演奏の活動をしています。人前での演奏は緊張しますが、季節に合わせて選曲したり、自宅で練習をすることで、生活にハリが出てきました。聴いているみなさんが、ハーモニカの音色や懐かしい曲を楽しんでもらえるとうれしいな〜という気持ちで、演奏をしています。

ハーモニカ演奏で自分が楽しく、元気の源になっている気がします。

★森さんは、その他に社協のいきいきサロン応援隊や、住民参加型有償生活支援サービス事業「かせし隊」の一員としても現在活躍中です。



大人のための手話体験講座

実施日 8月24日～9月28日

(毎週水曜・全6回)

受講者 5人

毎年継続して実施している手話体験講座では、町内の聴覚障がい者を講師として迎え、聴覚障がいの理解と、自己紹介やあいさつ等の基本的な手話を学びました。

受講者は、年に1回の講座を楽しみに手話を学ぶ人、体験講座をきっかけにさらに学びを深める人等さまざまです。講座を通して、講師や受講者同士で、手話の会話を楽しみながら学んでいました。



受講者の声

- ★手話はなかなか覚えられませんでしたでしたが、とても楽しく、少しでも手話で会話ができるようになってうれしくなりました。ずっとずっと学んでいきたいです。
- ★今回で3回目ですが、受講する度に受講して良かったと思っています。来年もぜひ参加したいです。
- ★教え方がわかりやすく、以前習っていたが、もう一度受講しました。

福祉教育サポーター養成講座

実施日 9月9日(金) 受講者 6人

心豊かな子どもの育成や生きる力を育む「福祉教育」をサポートする人を養成する講座を実施しました。

受講者は、福祉教育の目的や、サポーターの役割を学びました。



受講者の声

- ★福祉教育の実践時のポイントがよく理解できました。
- ★具体的な説明がわかりやすかった。

笑顔deつながる♪小物づくり講座

実施日 10月14日(金) 受講者 8人

手作りや手芸に興味・関心がある人が、楽しみながらボランティア活動につながることを目的に実施しました。

今回は、地域活動のボランティア団体「野いちごの会」のみなさんを講師に迎え、「ふくろうの壁飾り」を作りました。受講者のみなさんは、細かな作業に挑戦し、完成した自分の作品に大変喜んでいました。



受講者の声

- ★初めてのものづくりでしたが、手伝ってもらいながら楽しく出来上がりました。
- ★久しぶりに集中して手先を動かしました。みんなと話ながら「ふくろうの壁飾り」を作ることができて楽しかったです。

筑前町ボランティアセンター

〒838-0215 福岡県朝倉郡筑前町篠隈373
コスモスプラザ福祉館(筑前町社会福祉協議会内)

TEL:0946-42-4555 FAX:0946-42-5941

(ボランティアコーディネーター 林)

ホームページアドレス www.chikuzen-shakyo.or.jp/vc/
メールアドレス chikuzenshakyo@tea.ocn.ne.jp

発行編集/社会福祉法人 筑前町社会福祉協議会

